

指紋認証フラッシュ 取扱説明書

FP-FL128



指紋認証フラッシュ

最初に
ご確認ください。

セット 内容

- 指紋認証フラッシュ本体 1台
- USB延長ケーブル (0.4m) 1本
- ネックストラップ 1本
- ソフトウェア (Windows用8cmCD) 1枚
- 取扱説明書 1部

本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みください。
また、お手元に置き、いつでも参照できるようにしておいてください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)を
ご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

もくじ

製品紹介	2	ファイル保護	12
警告	2	■ファイルの暗号化	12
ユーザーデータファイル	2	■ファイルの復号化	13
システム要件	2	■フォルダの暗号化/復号化	14
指紋認証フラッシュ接続	3	■暗号化ファイルの編集	15
指紋登録方法	3	保護ファイル検索	15
注意事項	4	モバイルメール	16
ソフトウェアのセットアップ方法	4	■モバイルメール設定	16
■インストール方法	4	■モバイルメールの使用	16
■アンインストール方法	7	モバイルIE お気に入り	17
使用説明	8	■モバイルIE お気に入りの使用	17
はじめに	8	安全フォルダ	17
システム設定	8	■安全フォルダへのログイン	17
指紋管理	9	■安全フォルダからログアウト	17
■指紋データの登録	9	フォルダ同期	18
■指紋データの削除	9	■フォルダ同期設定と実行 (簡易版)	18
一般設定	9	■フォルダ同期設定と実行 (上級版)	19
レスキューパスワード	10	フォルダ同期の実行	20
コンピュータ保護管理	10	フォルダ同期のキャンセル	21
ID/パスワード管理 (パスワードバンク)	11	バックアップと復元	21
■ID/パスワード管理 (パスワードバンク) の登録	11	■バックアップ	21
■ID/パスワード管理 (パスワードバンク) の機能	12	■復元	22
		Q&A	22

製品紹介

この度は、指紋認証フラッシュをご利用いただき、まことにありがとうございます。近年、コンピュータを使用する機会が増え、また、コンピュータ内に重要データを保存する事が多くなり、セキュリティ上の問題に頭を痛める事も多くなりました。現在、数多くのファイル保護方法がありますが、その中でも、「指紋認証」は、お客様（ユーザー）のファイル及びコンピュータを最もご満足いただける形で保護する方法です。本製品を利用し、「指紋」の特異性や利便性を利用する事で、ユーザー個人データを安全に保護していただけます。ユーザーの重要データは「指紋」及び指紋により生成された[シークレットキー]によって保護されます。[シークレットキー]は24 組の数字からなるもので、指紋登録完了後、システムが自動的に[シークレットキー]を生成し、ファイルを保護します。[シークレットキー]はユーザーデータフォルダ内を安全に保ち、ユーザーデータフォルダ内で暗号化規制やファイル保護を行います。

警告

■テレビラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ/ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注 意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

ユーザーデータファイル 重要

ソフトウェアをインストールし、指紋登録完了後、「ユーザーデータフォルダ」を生成します。現在の**ユーザーデータファイルは必ずバックアップしてください**。インストールするたびに新しいシークレットキーとユーザーデータファイル（詳しくは「セットアップ方法」を参照してください）が生成されるため、もし、以前のユーザーデータファイルを復元することができなかった場合、以前暗号化したファイルを復号化できなくなります。復元処理は新しいシークレットキーで行う事はできません。ファイルの保護や安全フォルダは、それぞれのシークレットキーで保護されているため、復元には2種類のシークレットキーが必要になります。

注意

本ソフトウェアはアカウントパスワードを安全に使用していただき、保護するもので、アカウントパスワードが盗用された時はデータへアクセスされる可能性があります。

システム要件

■対応機種 Windows搭載パソコン

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ

※CPUはPentium 166以上（PentiumIII700以を推奨）

※メモリーの空き容量は64MB以上（128MB以上を推奨）

※USBポート（Aタイプコネクタ）を持つ機種、CD-ROMドライブが使用できる機種

■対応OS Windows XP・2000

※Windowsのユーザー名・パスワードがあらかじめ設定されていないと、指紋認証ソフトはご使用になれません。

○Microsoft® Windows® XP・2000は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他における登録商標です。

○その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

○本製品の仕様及び外側は、改良のため予告なく変更することがあります。

指紋認証フラッシュ接続

接続する前に必ずお読みください

■本製品をUSBポートに接続する際の注意

本製品はWindowsで自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

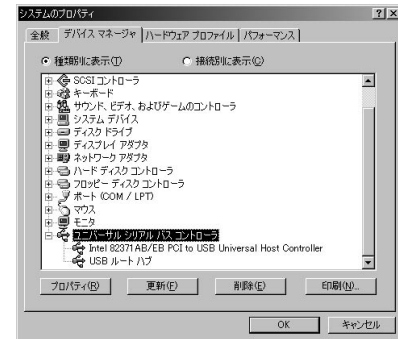
「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、下のような画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が無効に設定されている機種もあります。

※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel（インテル社）以外の場合もありますので、詳しくは本体（マザーボード）メーカーのサポートにお問い合わせください。

■BIOS上でUSBがdisable（ディセーブル=無効）になっている場合

●BIOS上のUSBをenable（イネーブル=有効）にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。



- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②本製品のUSBコネクタをコンピュータのUSBポートへ差し込みます。
- ③新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示され、自動的にインストールが完了します。

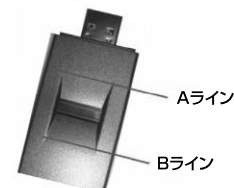
※本製品を認識しない場合はコンピュータのUSBポートから本製品のUSBコネクタを抜いて、再度差し込みます。そしてマイコンピュータ→プロパティ→システム→デバイスマネージャ→USBコントローラの中「USB大容量記憶装置デバイス」に「！」マークがついていないかどうか確認してください。

指紋登録方法

本製品はスライド方式の指紋認証デバイスです。

■登録手順

- ①本製品のセンサー部上下にそれぞれ2箇所、合計4点の突起があります。上部2点の突起を線で結んだラインをAラインとし、下部をBラインとします。（下画像参照）
- ②指の第一関節部分をAラインに密着させ、センサー部を指紋で撫でるようにBラインへゆっくりとスライドさせてください。（下画像参照）



- ③指をセンサー上部で3～8回程スライドさせ、最も良い品質の指紋データを指紋認証用データとして登録します。※センサー部分が汚れていると、指紋データを読み取りにくい場合があります。その際は、きれいな柔らかい布で汚れを拭き取ってください。（クリーナー液はご使用にならないでください。）

注意

上図は参考です。指紋認識デバイスに4箇所の突起があるわけではございません。

注意事項

- USB デバイスを接続後、本ソフトウェアをご使用になれます。
- 指紋認識装置を抜き取る前にデータ保護のため、必ず「ハードウェアの安全な取り外し」→「停止」を行ってください。安全な取り外しを行わず指紋認識装置を抜き取った場合は警告が出ます。

「ハードウェアの安全な取り外し」について

- ①右下タスクバーの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。
- ②「USB 大容量記憶装置デバイス」を選択し、「停止」をクリックします。

■ソフトウェアのセットアップ方法

注意 本ソフトウェアをインストールする前に、Windowsのユーザー名・パスワードがあらかじめ設定されているか確認してください。設定されていないと、不具合が発生します。

インストール方法

インストールには2つの方法があります。本製品（フラッシュ内）か製品付属のCD-ROMを使用しインストールすることができます。下記の説明は本製品（フラッシュ内）でのインストール方法になります。付属のCD-ROMを使用する際は、Windowsを完全に立ち上げた後付属のCD-ROMをドライブに挿入していただければ、セットアップ画面が自動的に立ち上がります。インストール前に指紋認識デバイスをUSBに接続しておいてください。

- ①まず、指紋認識デバイスをUSB に接続後、「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「Fingerprint AP」→「PdtGuide.exe」を実行してインストール作業を行ってください。



- ③インストール画面で[次へ]をクリックし、インストールを進めてください。インストール中にインストールをやめる場合は[キャンセル]をクリックしてください。（「EXW100」は製品型番です）

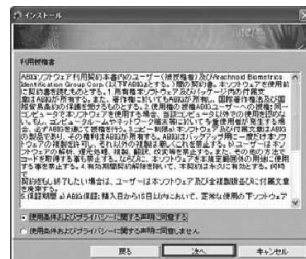


4

- ②ソフトウェアのインストールを行う可否を選択します。一時的にこのコンピュータを利用するユーザー（コンピュータの管理者）、指紋認識ソフトウェアをインストールしないユーザーは[モバイルウィザード]を選択してください。ソフトウェアの全機能を使用し、長期的にコンピュータを使用する場合（コンピュータの管理者）は、[ソフトウェアをインストールします]を実行してください。



- ④利用授權書が表示されますので、利用授權書を読んでください。利用授權書に同意できインストールを続ける場合は[同意する]をクリックして[次へ]をクリックします。同意できない場合はインストールを終了しますので[キャンセル]をクリックしてください。



- ⑤ユーザー名、会社名を入力し、CD-ROMジャケット（袋）に記載してある25桁のシリアルナンバーを入力してください。指紋認識フラッシュからインストールを行う場合は自動的にシリアルナンバーが入力されます。



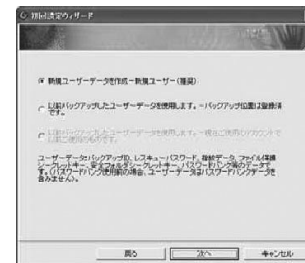
- ⑦初回設定ウィザードの開始画面が表示されます。

- ⑥インストール先を選択することができます。通常（推奨）は「C:\Program File\Fingerprint Application Suite\EXW100」が選択されています。任意の場所にソフトウェアをインストールする場合は[参照]をクリックし、任意の場所を入力してください。

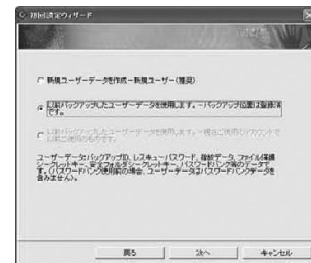


- ⑧初回設定ウィザードには、ユーザーによって3種類の設定があります。

- 初めてお使いの方は、[新規ユーザーデータを作成—新規ユーザー]を選択して[次へ]をクリックしてください。
- 以前ご使用の方でバックアップデータを使用する場合は[以前バックアップしたユーザーデータを使用します。—バックアップ位置は登録済みです。]を選択して[次へ]をクリックしてください。



- 以前ご使用の方で前回アンインストール時に設定データを削除してない方は、[以前バックアップしたユーザーデータを使用します—現在ご使用のアカウントで以前ご使用のものです。]を選択して[次へ]をクリックしてください。



注意 ユーザーデータ：ユーザーデータとはバックアップID、レスキューパスワード、指紋データ、ファイル保護シークレットキー、安全フォルダシークレットキー、パスワードバンク等のデータです。（パスワードバンク使用前の場合、ユーザーデータはパスワードバンクデータを含みません）。

5

- ⑨以下は[新規ユーザーデータを作成—新規ユーザー]の操作例です。
青く点滅している指を選択し、指紋登録を行います。(詳しくは“指紋登録方法”を参照してください)指紋登録は10本の指すべて連続して行うことができます。
ユーザーは必ず自分の指紋データを登録してください。登録した指紋は本ソフトウェアを使用する時にも必要となります。また、“システム設定”から“指紋の再設定/削除/新規設定”を行うことができます。(詳しくは“システム設定”を参照してください。)



- ⑩レスキューパスワードの設定方法。指紋認識を使用した認証が実行できない場合、レスキューパスワードを使用して認証を行うことができます。レスキューパスワード機能を使用する場合にはバックアップIDとレスキューパスワードを設定する必要があります。



- ⑪登録指紋とユーザーデータをバックアップします。
ファイルのバックアップ先を選択します。通常はC:\¥Documents and Settings ¥Administrator¥My Documents ¥My Fingerprint中に*.datファイルとして保存されます(*はユーザー—設定名称)ので、通常設定でよければ[次へ]をクリックしてください。

任意のフォルダへ設定したい場合は[参照]をクリックして、保存先を選択することができます。保存先を選択したら、[次へ]をクリックしてください。

もし、同じ名前のバックアップファイルがあれば、上書き確認の表示がでます。



バックアップ:本製品を再インストールした場合に、バックアップデータを使用することで、再度指紋登録を行わずに済みます。また、暗号化ファイルを開くこともできます。



- ⑫初回設定ウィザードが終了しましたら[終了]をクリックしてください。



6

- ⑬インストールが終了しました。コンピュータを再起動することでセットアップが完了します。[今すぐ再起動します。]を選択して[終了]をクリックしてください。



- ⑭インストールが終了し、コンピュータの再起動後にソフトウェアは自動的に起動します。右下のタスクバーにアイコンが表示されている場合、ソフトウェアのインストールが完了し、ソフトウェアが起動しています。



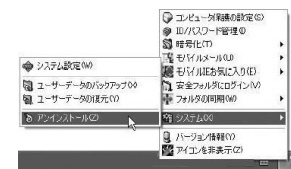
アンインストール方法

- ①アンインストールを行うには、3種類の方法があります。

- a. “スタート”→“すべてのプログラム”→“Fingerprint Application Suite”→“EXW100”→“システム”→“アンインストール”をクリックしてください。(“EXW100”は製品型番です)



- b. タスクバーでのアイコンをマウスの右ボタンをクリックして→“システム”→“アンインストール”をクリックしてください。



- c. “コントロールパネル”を開いて“プログラムの追加と削除”を実行し、“EXW100”を選択し[変更と削除]をクリックしてください(“EXW100”は製品型番です)



- ②アンインストール画面です。



- ③アンインストールはユーザーデータを削除するものではありません。再インストール時に[バックアップデータを使用する]を選択する事で、以前バックアップしておいたデータを使用することができます。(詳しくは“インストール方法”を参照してください)



7

- ④コンピュータを再起動することでセットアップが完了します。再起動後設定が反映されます。



注意 ユーザーデータを削除したい場合は、CD-ROMを起動し[初期値の削除]を実行してください。

■使用説明

はじめに

インストールを終了しコンピュータを再起動することでインストールが完了し、指紋認証機能を使用することができます。以下はシステム設定、コンピュータ保護、ID/パスワード管理、ファイル保護、モバイルメール、モバイルIE お気に入り、安全フォルダ、バックアップ、復元、及びタスクバーの表示設定の操作方法です。

[モバイルウィザード]を選択している場合は、システム設定ID/パスワード管理、ファイル保護、モバイルメール、モバイルIE お気に入り、バックアップ、復元の機能のみご使用いただけます。

システム設定

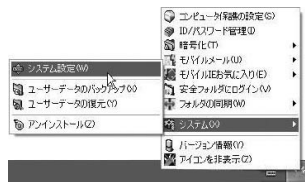
システム設定ウィンドウには、以下の項目があります。
指紋管理、一般設定、レスキューパスワード、コンピュータ保護管理、ID/パスワード管理

システム設定を行うには2種類の方法があります。

- a. “スタート”→“すべてのプログラム”→“Finger Application Suite”→“EXW100”→“システム”→“システム設定”をクリックしてください。(“EXW100”は製品型番です)



- b. タスクバーでのアイコンをマウスの右ボタンをクリックして、“システム”→“システム設定”をクリックしてください。



■指紋管理

指紋管理設定では、新規指紋データ登録や指紋データの削除を行うことができます。

■指紋データの登録

マウスのカーソルを青い指先へ合わせると、選択した指が緑色になります。選択した指と同じ指を使用し、指紋登録を行ってください。(詳しくは“指紋登録方法”を参照してください) センサーが指の特徴を読み取り、指紋データの登録が10本の指すべてを連続して登録することができます。



■指紋データの削除

マウスのカーソルを削除したい指(指紋データ登録済)上へあわせませう。このときポインタがに変化します。そして、削除する指をクリックすると指紋データが削除されます。連続で削除することも可能ですが、最低1個の指紋データを残しておいてください。



注意 コンピュータのセキュリティ確保のため、最低1個の指紋データが必要です。

■一般設定

本人確認時にレスキューパスワードによる本人確認を行うことができます
指紋認証以外にレスキューパスワードによる認証を行うことができます。指紋認証が実行できない場合に使用することができます。

本人確認時には登録済み指紋を提示してください
この設定を有効にすると、本人確認画面上で読み込まれた指紋データが登録されているものであるかどうかを表示することができます。登録されている場合は該当指が緑色になった手図が表示されます。

タスクバーに表示設定
この設定を有効にすると、右下のタスクバーにを表示します。



注意 “レスキューパスワードによる本人確認……”を選択しなかった場合、本人確認時には指紋認証しかできないため、ログオン時、入力欄は入力不可能になります。

レスキューパスワード

指紋認証を実行することができない場合、バックアップID とレスキューパスワードを使用して認証を行うことができます。バックアップIDとレスキューパスワードは両方で一組の認証方式になりますので、両方設定してください。

バックアップIDとレスキューパスワードレスキューパスワードはアルファベット（大文字と小文字）及びアラビア数字のみ使用することができます。



コンピュータ保護管理

コンピュータ保護管理は本製品を抜いた場合にコンピュータを保護する機能です。本製品を抜いた後、コンピュータは[コンピュータ保護]、[ログアウト]、[電源を切る]、[なにもしない]の4種類の動作を実行します。

1. コンピュータにログインする時の[ユーザーアカウント]と[パスワード]を入力してください。正しいパスワードを入力したら、[パスワードの確認]再度パスワードを入力してください。パスワードが間違っている場合、コンピュータ保護を行うことができません。

[指紋データを同期します]を選択した場合、コンピュータ保護時に指紋認証による本人確認を行うことができます。もし、選択しない場合はログインするとき使用するユーザーアカウントとパスワードを使用してください。

コンピュータ保護

本製品を抜くと、コンピュータをロックします。ユーザーアカウントとパスワード入力すると引き続き使用することができます。

ログアウト

本製品を抜くと、自動的にログアウトします。

電源を切る

本製品を抜くと、自動的に電源を切ります。

何もしない

本製品を抜いても、コンピュータは保護されません。



2. ユーザーが[コンピュータの管理者]である場合、タスクバーのアイコンを右クリックして[コンピュータ保護設定]を実行してください。本人確認後すぐにコンピュータ保護機能が反映されます。

注意

コンピュータ保護機能を解除したい場合、タスクバーのアイコンを右クリックして[コンピュータ保護の解除]を実行してください。本人確認後すぐにコンピュータ保護機能が反映されます。



ID/パスワード管理（パスワードバンク）

ID/パスワード管理（パスワードバンク）では、ウェブ上の様々なサイトやアプリケーションでID/パスワードデータの管理及び編集、ホットキー設定を行う事ができます。

ID/パスワード管理

パスワード削除、名前の変更及びパスワードの編集を行うことができます。管理項目名の上でマウスを右クリックするとメニューリストが現れます。[編集]を選択することで、目的のアカウント及びパスワードを編集することができます。

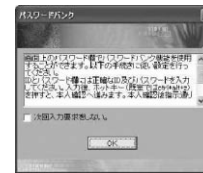
ホットキーの設定

該当ページでホットキー (Ctrl+Alt+Z) を押すと設定した電子メールアドレスやパスワードが自動で入力されます。(Ctrl+Alt+Zキーボードの組合せは選択変更できます)



ID/パスワード管理（パスワードバンク）の設定

1. ウェブ上の様々なサイトやアプリケーションで本人確認が必要な際に設定します。マウスポインタがパスワード入力欄にあるとき、自動的にパスワードバンクの表示が現れます。ユーザーはIDとパスワードをパスワードバンクに登録することができます。[次回入力要求をしない]にチェックを入れると次回から表示が現れることはありません。



2. ID パスワード認証欄に正しいIDとパスワードを入力し、ホットキー (Ctrl+Alt+Z) "ID/パスワード管理" 参照)を押すと、本人確認表示が現れます。



3. 本人確認後操作を続けることができます。

4. 本人確認後、パスワードバンク画面が表示されます。ユーザーは登録したいデータにチェックを入れ、[登録]をクリックします。(データの先頭にチェックボックスがあるので、クリックをしてください。クリック後に黒いチェックが入ります)



注意

一部のソフトウェア及びウェブページにはご利用できない場合がございますのでご了承ください。

■ ID/パスワード管理 (パスワードバンク) の機能

ID/パスワード登録後使用することができる機能です。

1. マウスのカーソルをパスワード入力欄に合わせたとき、自動的に本人確認表示が現れ、本人確認後、保存されているメールアドレス (ID) やパスワードを使用し自動的にログインします。



2. 同じサイトで2個以上のID/パスワードデータが存在する場合は、マウスのカーソルをパスワード入力欄に合わせたときパスワードリストが表示されます。リストから該当パスワードを選択して本人確認を行ってください。



■ ファイル保護

ファイル保護機能を使用することで、ファイルの暗号化/復号化、フォルダの暗号化/復号化及び暗号化ファイルの編集を行うことができます。(以下の説明はデスクトップ上のファイル使用例です)

ファイルの暗号化

1. 暗号化したいファイルを右クリックして、メニューリストから[暗号化]を選択します。

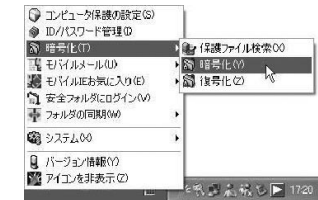


2. 本人確認を行うと、[ファイル保護管理]画面が現れます。[はじめる]をクリックするとファイル暗号化が行われます。暗号化されたファイルのアイコンは  に変化します。



以下の方法で暗号化することもできます。

1. タスクバーのアイコンを右クリックし[暗号化]を選択します。



2. 本人確認後、[暗号化]画面が表示されますので、[参照]をクリックし、暗号化したいフォルダを選択します。選択したフォルダ内のファイルが表示されますので、暗号化したいファイルにチェックを入れます。(全部のファイルを暗号化したい場合は[全て選択]をクリックします)[はじめる]をクリックすると暗号化が始まります。暗号化されたファイルのアイコンは  に変化します。



ファイルの復号化

1. 復号化したいファイルを右クリックして、メニューリストから[復号化]を選択します。

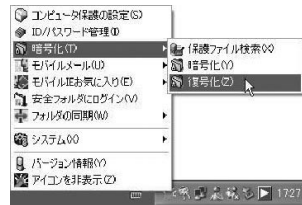


2. また、暗号化されたファイルをダブルクリックし、本人確認を行うことで自動的にファイルの復号化を行うこともできます。



以下の方法で復号化することもできます。

1. タスクバーのアイコンを右クリックし[復号化]を選択します。



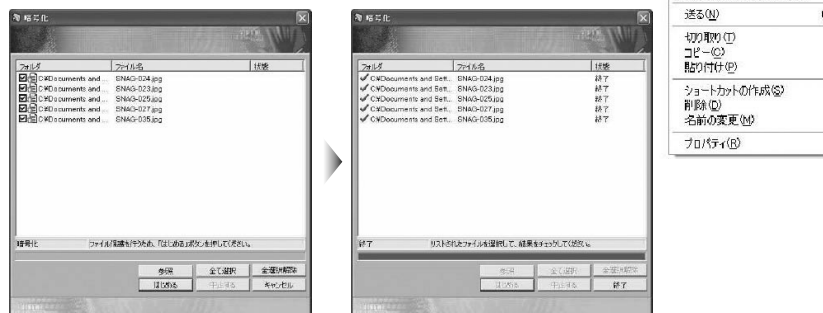
2. 本人確認後、[復号化]画面が表示されますので、[参照]をクリックし、復号化したいフォルダを選択します。
選択したフォルダ内のファイルが表示されますので、復号化したいファイルにチェックを入れます。(全部のファイルを復号化したい場合は[全て選択]をクリックします)[はじめる]をクリックすると復号化が始まります。復号化に成功したファイルは保護されない状態になります。



フォルダの暗号化/復号化

直接フォルダ内部のファイルを選択して暗号化/復号化を行うことができます。

デスクトップにあるファイルを例にします。
暗号化/復号化されたファイルを右クリックして[暗号化]/[復号化]を選択します。
本人確認後、フォルダ内のファイルが表示されるので、ユーザーは暗号/復号化するファイルを選択します。確認後[はじめる]をクリックすると処理が実行されます。



暗号化ファイルの編集

編集したい暗号化ファイルがある場合、復号化を行った後ファイルの編集作業を行うことができます。

保護ファイル検索

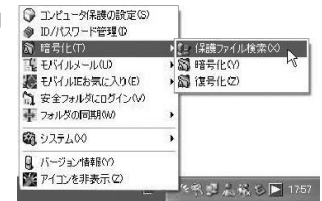
コンピュータ内の暗号化ファイルを検索できます。

- 1..保護ファイル検索には2種類の方法があります。:

- a. "スタート" → "すべてのプログラム" → "Fingerprint Application Suite" → "EXW100" → "暗号化" → "保護ファイルの検索"をクリックしてください。("EXW100"は製品型番です)



- b.タスクバーのアイコンを右クリックし[暗号化]→[保護ファイルの検索]を選択してください。



- 2.保護ファイルの検索:まず、左側のローカルフォルダ欄にある検索したいハードディスク等を選択し、[検索]をクリックします。終了する場合は[終了]をクリックします。



- 3.暗号化ファイルリストが取得されたら、右クリックして[削除]することができます。

マウスをダブルクリックし本人確認を行うことでファイルの復号化を行うことができます。

再度検索する場合はハードディスクを選択し[検索]をクリックします。



■モバイルメール

モバイルメールを使用することでOutlook Express内の設定やデータ(メール設定、アドレス帳、メール)を本製品へエクスポートできます。本製品を他のパソコンに接続することで、何も設定することなく、すぐにエクスポートしたOutlook Express内の設定やデータを使用することができます。

モバイルメールの設定

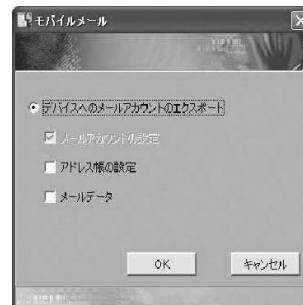
デバイスへのメール設定のエクスポートを行うことでOutlook Express内の設定やデータ(メール設定、アドレス帳、メール)を指紋認識デバイスへエクスポートできます。さらに新しいアカウントを作ることができます。

1. タスクバーの  を右クリックし[モバイルメール]→[デバイスへのメール設定のエクスポート]を選択します。



2. デバイスへのメール設定のエクスポート画面が表示されますので、[メールアカウントの設定][アドレス帳の設定][新しいアカウントを作る]のうち必要なものにチェックを入れます。

※メールデータに関しては、デバイス(本製品)の容量が不足する場合、エクスポートができません。



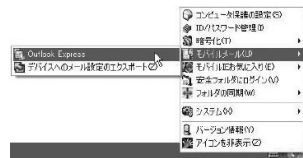
注意

デバイス(本製品)内には一件分のメール設定データのみ保存することができます。もし、複数件保存した場合は、最後に保存したデータのみ使用することができます。

モバイルメールの使用

他のコンピュータにモバイルメール設定済みの本製品を接続するだけで、新たに設定することなくOutlook Expressを使用することができます。

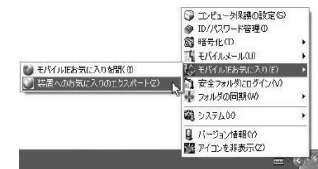
メール設定を本製品へエクスポートした後、他のコンピュータへ本製品を接続します。その後、タスクバーの  を右クリックし[モバイルメール]→[Outlook Express]を選択することでユーザーが設定したOutlook Expressを使用することができます。



■モバイルIEお気に入り

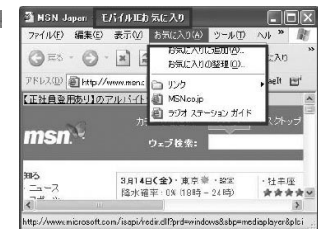
コンピュータ内の“お気に入り”(Internet Explorer用)を他のコンピュータで使用することができます。

タスクバーの  を右クリックし、[モバイルメール]→[デバイスへのメール設定のエクスポート]を選択します。これでお気に入りデータがデバイスへエクスポートされました。



モバイルIE お気に入りの使用

本製品をコンピュータのUSBポートに接続すると、タスクバーに  が表示されます。これを右クリックし[モバイルIE お気に入り]→[モバイルIE お気に入りの開く]を選択します。するとInternet Explorerが開きます(ウィンドウメニューにお気に入りがあります)その中のお気に入りには、ユーザーが設定したお気に入りデータが反映されています。

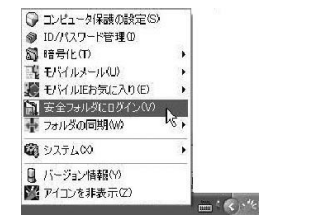


■安全フォルダ

指紋認証後安全フォルダにログインし、編集することができます。安全フォルダ中のファイルは一つ一つ暗号化しなくても保護された状態にあります。

安全フォルダへのログイン

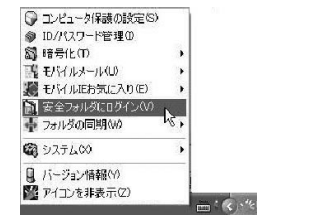
タスクバーの  を右クリックし、[安全フォルダ]→[安全フォルダにログイン]を選択すると安全フォルダ内のファイルを追加、削除、編集することができます。



安全フォルダからログアウト

タスクバーの  を右クリックし、[安全フォルダ]→[安全フォルダからログアウト]を選択するとログアウトできます。

ログアウト後安全フォルダは[アクセス拒否]されます。



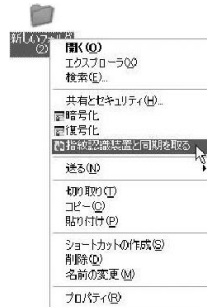
■フォルダ同期

コンピュータと本製品を同期させることで、データへのアクセス/変更日時が同じになり、データの同期を図ることができます。

フォルダ同期設定と実行（簡易版）

最大8個のフォルダを同期することができます。

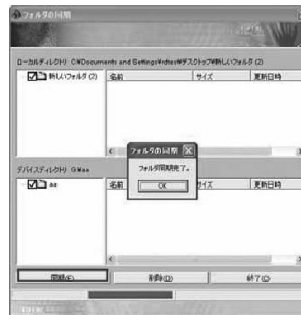
- 1.同期させたいフォルダ上で右クリックし[指紋認証装置と同期をとります]を選択します。



- 2.[フォルダ同期]が表示されるので[新規作成]をクリックします。違うフォルダを選択したい場合は再選択 (...部分) をクリックし、目的フォルダを選択します。



- 3.[フォルダの同期]をクリックして同期を実行します。



注意

フォルダの同期時には、同期するファイルを表示するだけでなく、自動的に全ファイルを選択しますので、[フォルダの同期]をクリックするだけでフォルダの同期を実行します。

フォルダ同期設定と実行（上級版）

最大8個のフォルダを同期することができます。

- 1.タスクバーの [] を右クリックし[フォルダの同期]→[同期設定]を選択して管理画面を開きます。



- 2.フォルダ同期設定

操作1:[名前]に同期名称を入力してください。

操作2:[ローカルディレクトリ]にコンピュータ内の同期させるフォルダを入力してください。

操作3:[デバイスディレクトリ]にデバイス内の同期させるフォルダを入力してください。

操作4:[新規作成]をクリックするとフォルダ同期が実行されます。



注意

[削除]をクリックするとフォルダ同期設定が削除されます。

3. 詳細設定

処理するファイルの属性

処理するファイルの属性を設定します。

処理するファイルタイプ

処理するファイルタイプを設定します。

ファイルタイプ例：*.doc *.jpg *.wav 等

処理しないファイルタイプ

処理しないファイルタイプを設定します。ファイル別に格納する場合に使用します。

ファイルの日付が異なる場合ファイルを比較対照します

ファイルの日付が異なる場合にファイルを比較対照し同様のデータであるか検証します。この処理を行うと、通常より時間がかかることがあります。

設定のクリア

ファイル同期設定を初期状態へもどします。

同期する方向

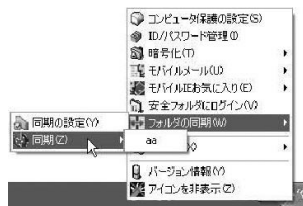
データを同期する方向を設定します。



■フォルダ同期の実行

1. フォルダ同期には行うには2種類の方法があります。

a. タスクバーの  を右クリックし[フォルダの同期]→[同期]をクリックし同期ファイルの名称を選択します。



b. フォルダ閲覧中に同期するフォルダがあれば、フォルダを右クリックし[フォルダの同期]を選択します。



2. 同期画面が現れますので、同期するフォルダを選択し、[同期]をクリックすると、コンピュータとデバイスのフォルダが同期実行します。



注意

フォルダの同期時には、同期するファイルを表示するだけでなく、自動的に全ファイルを選択しますので、[フォルダの同期]をクリックするだけでフォルダの同期を実行します。

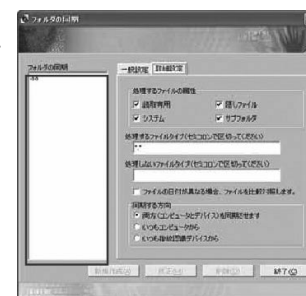
■フォルダ同期のキャンセル

1. フォルダ同期のキャンセルには以下の2種類の方法があります

a. 閲覧中に同期したいフォルダを右クリックし、[フォルダ同期のキャンセル]をクリックするとフォルダ同期のキャンセルが行われます。



b. フォルダ同期画面で、左側欄にあるキャンセルしたい同期ファイルを選択します。次に、[削除]をクリックすると同期がキャンセルされます。



■バックアップと復元

バックアップ

ユーザーデータをバックアップします。ユーザーデータをバックアップすると、本ソフトウェアを再インストールした時でも、指紋登録せずに保護ファイルを開くことができます。

バックアップする場所を選択します。指定の位置にバックアップ位置を変更したい場合は[参照]をクリックし、位置を選択します。バックアップデータには少なくとも指紋データがバックアップされます。バックアップを行う場合は[バックアップ]をクリックします。



復元

以前バックアップしたデータを復元し、再度使用します。復元することで、再度指紋登録をせずとも、保護ファイルを開くことができます。

復元データはバックアップデータからのみ選択することができます。コンピュータ内にすでに保存してあるバックアップファイルを選択し、[復元]をクリックすると復元が完了します。



注意

安全フォルダの中にデータがある場合は、復元できません。安全フォルダのシークレットキーを使用してください。

■ Q&A

Q1. なぜ、指紋登録に失敗する事があるのでしょうか？

A1. 指紋登録時には入力毎に指紋の特徴を読み取ります。これらの指紋特徴は入力毎に算出されるもので、より特徴を読み取る事ができた場合に登録が完了し、安全性が保たれます。

Q2. 指紋認証により暗号化したファイルが削除される可能性はありますか？

A2. 指紋により暗号化されたファイルは保護されているため、その内容は本人確認を経ない場合、閲覧・編集・削除することはできません。

Q3. 暗号化されたファイルが指紋認証で開く事ができないのはなぜでしょうか？

A3. 指紋登録時にうまく読み取る事ができなかった場合、もしくは、指紋自体に損傷がある場合、本人確認に影響があります。したがって、登録時2箇所以上の指紋を登録する事で、1本の認識が行えない場合も残りの指紋により本人確認を行われる事をお勧めします。

Q4. なぜexe, ini, dll (*.exe, *.ini, *.dll) ファイルは暗号化できないのでしょうか？

A4. これらのファイルを暗号化するとコンピュータの動作に支障をきたす恐れがあるため、暗号化できません。保護したい場合はアプリケーション保護を利用してください。

Q5. ユーザーデータをエクスポートする時、無断でパスワードを使用し本人確認されることはないのでしょうか？

A5. ユーザーデータには個人情報が入っているため、データは安全に保護されなければなりません。他人が勝手にユーザーデータにアクセスできないように、エクスポート時に、ユーザーデータへアクセスする場合は指紋認証による本人確認が必要です。これにより、データは安全に保護されます。

Q6. 同期機能でフォルダを削除することは可能でしょうか？

A6. できません。同期機能では同期設定の新規作成及び編集を行うことができます。コンピュータ内のフォルダが削除された場合でも、本製品内のフォルダが削除されることはありません。しかし、ユーザーのデータのファイルが既に削除/変更されている場合、再度同期をはかった時にファイルの同期を計るため元々フォルダ内にあったファイルが置き換えられます。

最新の情報はインターネットで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- ドライバのダウンロード
- よくある質問 (Q&A)
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼ トップページから



▼ “サポート&ダウンロード” コーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社ウェブサイトをご覧ください。

本取扱い説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2005.11現在

岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山市田町1-10-1 ☎086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 ☎03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 ☎011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区福岡1-6-37宝栄ビル ☎022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤビル1F ☎052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区高原4-1-45新大阪八千代ビル ☎06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX.092-471-8078
金沢 / ☎076-222-8384

www.sanwa.co.jp

05/11/FWNC